

観光の幅広い研究や実務をサポートする『旅の図書館』

東京・青山の静かな通りに建つビル内に、2016年にリニューアル開館した『旅の図書館』。豊富に揃った図書・資料は、手続きを行えば誰もが閲覧・利用可能。観光の研究・情報の新たなプラットフォームとして、多くの期待を集めている。



上：1階ガーデンラウンジ。窓際のフローリングの閲覧席は、オスズメ本に囲まれゆったりと本が読める
右：ステージといわれる地下1階への階段横書架には、国内外の地誌や旅行記などが並ぶ



上：専門書が揃う地下1階メインライブラリー。閲覧席は「たびとしよCafe」などさまざまな交流の場にもなる
下：地下1階の窓際に置かれた、自在な使い方ができるソファテーブル

『旅の図書館』は、公益財団法人日本交通公社が運営する旅・観光をテーマとする専門図書館。1978年に「観光文化資料館」として開設（1999年現名称に変更）以来、「テーマのある旅を応援する図書館」として長年親しまれてきたが、2016年に観光の学術研究機関である本部とともに港区南青山に移転。「観光の研究と実務に役立つ図書館」をコンセプトとしてリニューアルした。現在の蔵書数は約6万冊。観光分野の研究者や学生、実務者をはじめ、旅行の下調べや観光に深い興味をお持ちの方など、誰もが利用可能だ。本誌巻頭の鼎談（p.3）も『旅の図書館』の2階の会議室で行われた。

多岐に及ぶ貴重な蔵書

木材を基調とした落ち着いた雰囲気の中で心地よいBGMが流れ、ゆったりと資料を閲覧するには好適。1階のライブラリープラザでは、同財団の出版物や新刊本、オスズメ本、国内外のガイドブック、雑誌のほか、一般の公共図書館ではなかなか読めな

い全国の地域情報誌などもあり、さまざまな観光情報に出会うことができる。また地下1階のメインライブラリーは、観光研究資料や地域研究資料、古書・稀観書、統計資料、調査研究報告書、旅行商品パンフレット、古い雑誌やガイドブック、時刻表、機内誌など、専門性の高い資料や特徴的なコレクション資料が揃い、独自分類によってわかりやすく架装されている。

さまざまな交流の場として活用

新しい図書館は、「知見やネットワークを共有する観光の研究・情報プラットフォーム」としての役割もある。旬のテーマでゲストスピーカーを招き、軽飲食を楽しみながら気軽に参加者と交流してもらう「たびとしよCafe」の定期的な開催をはじめ、各種研究会やセミナー、シンポジウムなど、多様な人と情報の交流の場が、一年



図書館を含む「観光文化情報センター」のスタッフ。幅広く相談に乗ってくれる頼もしい存在

を通して、図書空間という独特の雰囲気の中で提供されている。

観光の研究者や実務者は研究の種や実務のヒントを探しに、また一般の方も、奥深い旅・観光の魅力を味わいに、ぜひ立ち寄っていただきたい。



旅の図書館
住 東京都港区南青山2-7-29日本交通公社ビル
☎ 03-5770-8380
時 10:30～17:00
休 土日祝・第4水曜・年末年始休
HP <https://www.jtb.or.jp/>